

◎異動届出書の記入の仕方

1 未徴収税額を退職手当等から一括徴収する場合

受付印

給与支払報告 にかかると特別徴収 にかかると給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
処理者		
処理日		
特別徴収義務者番号	0900000001	
個人連番	3	
連絡者の係及び氏名並びにその電話番号	係	大崎 二郎
	氏名	大崎 二郎
	電話	03-3777-XXXX

〒140-0005 品川区広町1-1-1

株式会社 シナガワ

品川 太郎

平成 28 年 10 月 5 日

品川区長あて

フリガナ	中延 サブロウ	異動の事由	1月1日以降退職時までの給与支払額
氏名	中延 三郎 (旧姓)	1 退職(普・障)	3,000,000 円
生年月日	◎・H 51 年 7 月 7 日 生	2 転 勤	控除社会保険料額
〒	品川区中延 1-1-1	3 休 職	150,000 円
個人番号		4 長期欠勤	退職手当等の支払額 (支払予定額)
		5 死 亡	20,000,000 円
		6 会社解散	勤 続 年 数
		7 住所異動	14 年
		8 その他	

特別徴収税額 (ア) 120,000 円

徴収済月 6 月分から 9 月分まで

徴収済額 (イ) 40,000 円

未徴収税額 (ウ) 80,000 円

異動年月日 H28 年 9 月 30 日

注意5を参照ください。

◎異動後の未徴収税額(ウ)の徴収方法を下の1. 2. 3. から選択し、該当記号を○印で囲んでください。

① 一括徴収

(ウ)の額を退職時等に、給与等から徴収します。

一括徴収した税額は、**9 月分**で納入します。
(10月11日納期限)

一括徴収の理由

1. 平成28年12月31日以前に異動があり、一括徴収の申出があったため (9月30日申出)

2. 平成29年1月1日以降に異動があり、特別徴収の継続の希望がないため

給与、退職手当等の支払予定日	9・30	一括徴収予定額	80,000 円	合計 (上記(ウ)と同額)	80,000 円
----------------	------	---------	----------	---------------	----------

異動者印 (中延)

② 普通徴収

(ウ)の額を本人が納付書で支払います。

※ 品川区から、後日、本人宛に未徴収税額の納税通知書を送付します。

死亡退職の場合で相続人の代表者又は海外出国の場合で納税管理人となる方の連絡先が分かるときは、その方の「住所、氏名、続柄、電話番号」を記載してください。

住所 〒

氏名 続柄 ()

電話

備考

③ 特別徴収の継続 (ウ)の額を新しい特別徴収義務者が給与から徴収します。

所在地	〒
フリガナ	
名称	
代表者の職氏名印	
法人番号	
連絡者の係及び氏名並びにその電話番号	
係	
氏名	
電話	

月割額 円を 月分 (月 日納期限) から納入する。

特別徴収義務者指定番号: 新規 ← 新規の場合は、○印で囲んでください。

新規の場合は、次のいずれかを○印で囲んでください。

品川区作製の納入書: 要 ・ 不要

異動者の氏名を記入して下さい。

異動者の生年月日を記入して下さい。

賦課期日(平成28年1月1日)の住所を記入して下さい。

「1. 一括徴収」を○で囲んで下さい。

一括徴収する税額と何月分で納入するかを記入して下さい。

特別徴収税額通知書の個人別明細に記入されている「年税額」を記入して下さい。

異動者(退職者等)の税額を何月から何月まで徴収したかを記入し、その徴収税額を記入して下さい。

特別徴収税額通知書に記入されている番号を記入して下さい。

この届を記入された方の連絡先を記入して下さい。

退職した年の1月1日より退職時までの給与支払額の合計と社会保険料を記入して下さい。

異動の事由を○印で囲んで下さい。

(ア)の年税額から(イ)の徴収済額差し引いた額を記入して下さい。